



*Dreams Come True*

夢を実現させよう。新たな歴史と伝統をみんなで創ろう。

福島県立磐城桜が丘高等学校

2025年  
学校案内

# スクール・ミッション(期待される社会的役割等)

## ● 高校の存在意義

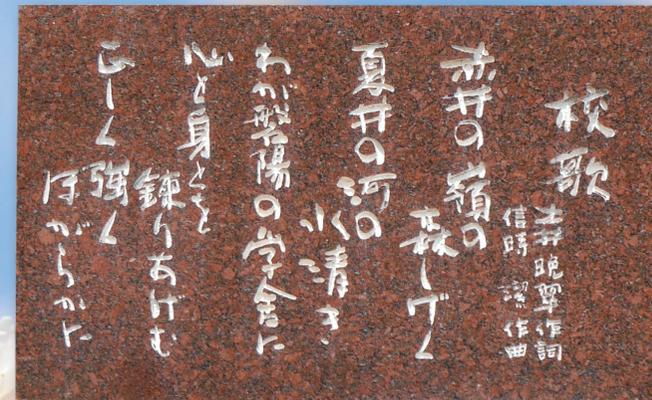
校訓「調和」「勤労」「気節」のもと、いわき地区の進学指導重点校に位置する普通科の高校。

## ● 期待される社会的役割

正義と礼節を守り、民主的・道徳的な態度を有し、高潔な品性と寛容の精神に基づいた豊かな人間性を備え、新しい時代を切り拓く力にあふれた、社会におけるリーダーを育成する学校。

## ● 目指すべき学校像

質の高い授業の実践と地域と連携した協働的な学びに加え、教育分野への関心を高める取組等を通して、多様な分野で活躍できる人材を輩出することにより、地域の期待に応える学校。



### I 進路希望を実現する

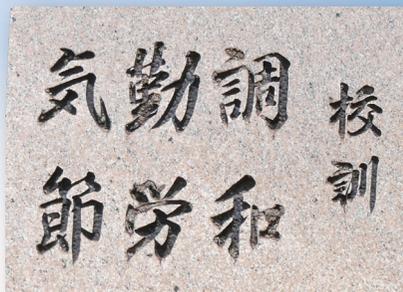
- 授業の改善、充実
- 組織力と情報力の活用
- 主体的に学ぶ姿勢の醸成
- 確かな実力の養成

### II 在り方・生き方を学ぶ

- 資質の向上
- 安全・健康教育の充実
- 生徒会活動・部活動等の充実
- 人間的成長への支援

### III 地域とつながる

- 開かれた学校づくりの推進
- 安全・安心な学校づくりの推進
- 美化活動の充実
- 各種コンクール、連携事業等への積極的な参加



思いやりの心をもって力をあわせ、**〔調和〕**

自己および公共のために、心と身とを労することを厭わず、**〔勤労〕**

困難にくじけぬ強い意志と体力を養い、自ら掲げる理想と信念を守り、**〔気節〕**

生涯学び続ける情熱を培う。

#### 校長メッセージ

Message

## 「磐城桜が丘であなた自身の3年間を創ろう！」

校長 渡邊 学

創立120年の歴史と伝統を踏まえながら、福島県の進学指導重点校として新たな特色化・魅力化を図っています。特に2年目となる「教育コース」はその柱であり、他の学校では学べない、経験できない取組を通して、将来、教育界で活躍する人材の育成を図っていきます。「先生になるなら桜が丘」です。

もちろん、本校生は文理問わず様々な分野に進んでいきます。皆さんが進路希望を実現していくために、そして社会のリーダーとして成長していくために、丁寧な学習指導、進路指導を行っていきます。また、皆さんの学びをより深いものとしていくために、探究学習の充実にも力を入れています。

さらに本校では、勉強以外の様々な活動も奨励しています。皆さんが勉強と部活動などとの両立を図ることができるよう、また様々な取り組みにチャレンジしていくことができるよう支援していきます。

皆さん、様々な魅力のある磐城桜が丘で、あなた自身の3年間を創っていきましょう！



# I 進路希望を実現する

- きめ細かい進学指導に努めます。
- 将来の進路を考え、体験型学習を実施します。
- 総合的な探究の時間を活用して総合型選抜・学校推薦型選抜に対応します。
- 学習会・平常課外・土曜課外・長期休業中の課外などで実力養成に努めます。

## カリキュラム表 (令和6年度入学生)

令和6年4月1日 現在

第一学年	共通	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ	表現Ⅰ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	総合探究	LHR	
第二学年	文類型	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	地学基礎	体育	保健	音楽Ⅱ	美術Ⅱ	英語 コミュニケーションⅡ	表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合探究	LHR	
	理類型	論理国語	古典探究	地理探究 世界史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	物生 理物	化学基礎	化学	体育	保健	音楽Ⅱ	美術Ⅱ	英語 コミュニケーションⅡ	表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合探究	LHR
第三学年	文Ⅰ型	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究 世界史探究	政治・経済	数学Ⅱ 演習Ⅰ	数学Ⅲ 演習Ⅱ	物生 理物	化学	理科演習	音楽Ⅲ 素描	美術Ⅲ デザイン	英語 コミュニケーションⅢ	表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ	実践英語Ⅰ	実践英語Ⅱ	総合探究	LHR
	文Ⅱ型	論理国語	古典探究	地理探究 世界史探究	倫理	数学Ⅱ 演習Ⅰ	数学Ⅲ 演習Ⅱ	物生 理物	化学	理科演習	体育	音楽Ⅲ 素描	美術Ⅲ デザイン	英語 コミュニケーションⅢ	表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ	実践英語Ⅰ	実践英語Ⅱ	総合探究	LHR
	理類型	論理国語	古典探究	地理探究 世界史探究	倫理 政治・経済	数学Ⅱ 演習Ⅰ	数学Ⅲ 演習Ⅱ	物生 理物	化学	理科演習	体育	音楽Ⅲ 素描	美術Ⅲ デザイン	英語 コミュニケーションⅢ	表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ	実践英語Ⅰ	実践英語Ⅱ	総合探究	LHR

カリキュラムの詳細 ※( )内は単位数を表しています。

- 2年次: 文類型・理類型のいずれかを選択します。  
文類型: 日本史探究・世界史探究・地理探究の選択(3)、芸術(2)、化学基礎・地学基礎(2)  
理類型: 日本史探究・世界史探究・地理探究の選択(2)、物理・生物の選択(3)
- 3年次: 文類型は文Ⅰ型と文Ⅱ型の選択、理類型は継続となります。  
文共通: 日本史探究・世界史探究・地理探究の選択(5)  
文Ⅰ型: 世界史研究・日本史研究・地理研究の選択(2)、音楽史・素描・フードデザインの選択(3)  
文Ⅱ型: 倫理・政治経済の選択(2)、生物・理科演習の選択(4)  
理類型: 世界史研究・日本史研究・地理研究・倫理・政治経済の選択(3)、数学演習・数学ⅢCの選択(7)、物理・生物の選択(4)

日課表 (令和6年度) ※水曜日は6校時

(朝自習)	(8:10~ 8:25)
SHR	8:25~ 8:30
1校時	8:35~ 9:25
2校時	9:35~10:25
3校時	10:35~11:25
4校時	11:35~12:25
昼休み	12:25~13:10
5校時	13:10~14:00
6校時	14:10~15:00
7校時	15:10~16:00
清掃	16:00~16:15
SHR	16:15~16:20

## 普通科の特色化・魅力化に伴う「教育コース」について



### 目的

- 体験学習や講演会等を通し、教員をはじめとした教育に関わる職業への理解や使命感を醸成します。
- 教員養成学部などへの進学に向けた学習指導、進路指導の充実を図ります。
- これらの取組を通して、本校をより一層特色のある高校・魅力のある高校へと発展させます。



教育実習生との懇談会



### 主な計画

現時点での予定です。  
活動の様子などは本校ホームページ「教育コース」に掲載します。

1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育実習生との懇談会</li> <li>● 小学校等と連携した交流学习、体験学習</li> <li>● 職業人講話 (教育関係者)・大学での体験講義</li> </ul>
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学問分野別講話</li> <li>● 特別支援学校等と連携した交流学习・体験学習</li> <li>● 探究成果発表</li> </ul>
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3学年教育コースガイダンス</li> <li>● 小論文学習</li> <li>● 進路別学習</li> </ul>

## 学習風景~「主体的・対話的で深い学び」の実現~



### ICTの活用授業



### グループワーク



### 学習室

各大学の過去問題集(赤本)があり、それを利用しながら学習ができます。



### 個別指導

# 進路手帳の活用

～生徒一人ひとりが主体的・計画的に学習できるように～

Handwritten student planners showing daily schedules with time slots and activities. A table below shows weekly schedules with time slots and activities.

曜日	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
科目	英語																					
時間	10:00-11:00	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-14:00	14:00-15:00	15:00-16:00	16:00-17:00	17:00-18:00	18:00-19:00	19:00-20:00	20:00-21:00	21:00-22:00	22:00-23:00	23:00-24:00	24:00-25:00	25:00-26:00	26:00-27:00	27:00-28:00	28:00-29:00	29:00-30:00	30:00-31:00	31:00-32:00

高校生は勉強、部活、趣味等やるのがいっぱい!高校3年間という限られた時間をいかに使うかがとても大切です。その時間の管理を手帳を使って行いましょう。そして時間だけでなく、自己管理能力も身につけて進路表現をしましょう。

# 進路状況 卒業生合格者延べ数の推移 (5年間)

	令和5年度卒業生		令和4年度卒業生		令和3年度卒業生		令和2年度卒業生		令和元年度卒業生	
	人数	推薦・総合内数	人数	推薦・総合内数	人数	推薦・総合内数	人数	推薦・総合内数	人数	推薦・AO内数
国立大学	29	11	36	16	25	7	30	7	33	15
公立大学	31	8	21	9	24	11	40	12	20	3
私立大学	371	57	395	52	347	56	334	72	349	49
文部科学省所管外大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
公立短期大学	0	0	5	0	8	1	9	1	1	0
私立短期大学	6	6	9	2	8	5	5	1	6	2
看護学校	24	6	26	3	8	2	15	5	21	4
専修・各種学校等 (看護学校を除く)	2	0	9	3	7	6	13	6	10	4
公務員	3	2	2	2	2	4	4	4	4	4
就職	3	2	2	0	0	0	0	0	1	1
その他の学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	469	88	506	85	429	88	450	104	445	77

## 夢ナビライブ (1年次)

第15回 夢ナビライブ  
**Lumenavi LIVE 2024**  
国公立大 合同進学オンラインイベント

## 半日総合大学 (2、3年次)



## 1日総合大学 (1年次)

\*令和2~4年度は出前講座として実施



## 在校生からのメッセージ 宮里 七海 (2年)

高校生活は、大学への進学や就職にむけた大切な準備期間になります。私は、授業のほかに、チャリーディング部の活動や福島浜通り高校生会議など、様々な校外活動に取り組み、多くの貴重な体験を積むことができました。磐城桜が丘高校には、自分の興味があることに挑戦できる環境が整っています。高めあえる仲間に出会い、充実した日々を送っています。自分が輝ける場所を、磐城桜が丘高校と一緒に探していきましょう。



## 主な進路先 (5年間)

### 国公立大学

北海道大学・北海道教育大学・東北大学・宮城教育大学・山形大学・福島大学・新潟大学・茨城大学・秋田大学・筑波大学・埼玉大学・宇都宮大学・横浜国立大学・東京外国語大学・東京学芸大学・東京都立大学・岩手県立大学・宮城大学・福島県立医科大学・会津大学・高崎経済大学・群馬県立女子大学・横浜市立大学・都留文科大学・千葉県立保健医療大学・新潟県立大学など

### 私立大学

早稲田大学・慶應義塾大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学・日本大学・東京農業大学・文教大学・学習院大学・東北学院大学・津田塾大学・東京女子大学・日本女子大学・立命館大学・獨協大学・神田外語大学・國學院大学・駒澤大学・専修大学・北里大学など

## 卒業生の声 (合格体験記より一部抜粋)

石井 桜美 横浜市立大学 国際教養学部 国際教養学科

私が横浜市立大学に行きたいと考え始めた高校2年生の頃、自分の学力は全く足りていませんでした。受験勉強のスタートが遅かったため、なにを優先的に勉強するべきか考え、新しい参考書等はなるべく購入せず、学校で配布されている教材を中心に勉強を進めました。英単語や地歴科目の用語などは一問一答形式で勉強する方法が一番成果が分かりやすく、モチベーションに繋がりがやすかったと考えています。

正直、部活動と勉強の両立は簡単ではなく、苦しい時期も多くありましたが、まわりの方々に応援をいただいた事で、自分のために合格したいという気持ちよりも、応援して下さった方々のためにも頑張ろうと思い、最後までやり抜くことが出来ました。私のように、11月まで部活動を継続し、その後大学受験に臨む人は多くないと思います。そのことを理解した上で私が伝えたいことは、何事も諦めないこと、そして、自分で決めたことに最後まで責任を持つことです。私の合格体験記が少しでも皆さんの参考になると幸いです。在校生のみならず、残りの高校生活、そして卒業後の進路において、笑顔で過ごすことができるよう、願っています。頑張れ桜が丘!

## 進路指導専事からのメッセージ 住吉 圭介 先生 (国語科)

磐城桜が丘高校には主体的に学び、積極的に自分の進路目標を叶えようと努力する生徒に対して、十分な指導態勢と学習施設があります。進路指導部でも生徒の目標を実現するために様々な行事を予定しています。自分の夢に向かって頑張りましょう。



## II 在り方・生き方を学ぶ

## 令和5年度の主な活動成績

(東北大会以上)



ソフトテニス部



バレーボール部



ダンス同好会

テニス部	全国高校総合体育大会(北海道インターハイ)	女子シングルス 女子ダブルス 出場
	第78回 国民体育大会(鹿児島国体)	福島県チーム 出場
	全日本ジュニアテニス選手権	女子シングルス 女子ダブルス 出場
	第30回 東北春季ジュニアテニス大会	女子シングルス 1位
	東北高等学校テニス選手権大会	女子団体 出場 女子シングルス 1位 女子ダブルス 3位
陸上競技部	第45回 東北ジュニアテニス選手権大会	女子シングルス 1位 女子ダブルス 1位
	第43回 東北選抜ジュニアテニス選手権大会	女子シングルス 2位
	令和5年度 全国高等学校総合体育大会(北海道インターハイ)	女子100mH 出場 男子400mH 出場
	特別国民体育大会(鹿児島国体)	少年女子A 100mH 出場 少年男子A 300mH 出場
	第78回 東北高等学校陸上競技大会	女子100mH 優勝 男子400mH 第6位 男子ハンマー投 男子砲丸投 出場
水泳部	第50回 東北総合体育大会 陸上競技大会	女子400mH 第8位
	令和5年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(北海道インターハイ)	男子200m平泳ぎ 出場 女子50m自由形 出場
	第71回 東北高等学校選手権水泳競技大会	男子200m平泳ぎ 第3位 女子50m自由形 第3位
剣道部	第31回 東北高等学校新人水泳競技大会	女子50m自由形 第2位 女子100m自由形 第8位
	第55回 東北高等学校女子剣道選手権大会	女子個人 第3位
ソフトテニス部	第36回 東北高等学校剣道選抜優勝大会	男子団体 出場 女子団体 出場
	第17回 東北高等学校春季ソフトテニス選手権大会	女子団体 出場
文芸部	令和5年度 第66回東北高等学校ソフトテニス選手権大会	女子個人戦 出場
	第38回 全国高等学校文芸コンクール	文芸部誌部門奨励賞「関伽井 第78号」
吹奏楽部	第25回 全国高等学校文化連盟北海道東北文芸大会 山形大会	文芸部誌部門「関伽井 第78号」
	第66回 東北吹奏楽コンクール	小編成の部 金賞
放送局	第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト	アナウンス部門 出場
	第47回 全国高等学校総合文化祭 放送部門	ビデオメッセージ部門「偏蝕」
	第27回 東北高等学校高校放送コンテスト岩手大会	アナウンス部門 出場 朗読部門 出場



華道部



演劇部

### 磐城桜が丘の部活動

#### 文化部

文芸・科学・写真・食物・合唱・演劇・美術工芸・書道・茶道華道・吹奏楽・箏曲・チャアリーディング

#### 運動部

バスケットボール・バレーボール・ソフトテニス・卓球・陸上競技・バドミントン・水泳・弓道・テニス・剣道・野球・サッカー

#### 局・同好会等

新聞・購買・放送・ダンス・家庭クラブ



在校生からのメッセージ 1 ●放送局

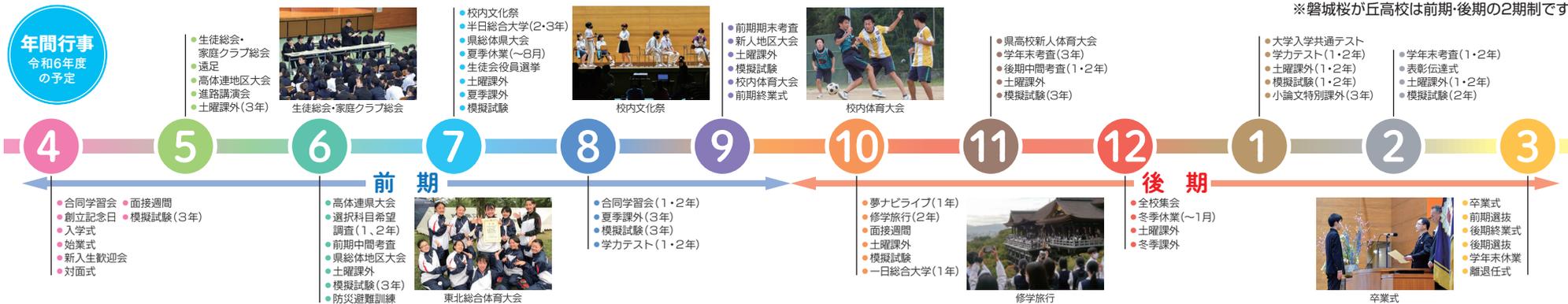
放送局はアナウンス、朗読、番組制作など、様々な活動ができるのが魅力です。大会ではシナリオ作り、撮影、出演、アフレコ、編集などの仕事を全て自分たちで行います。他にも、学校行事の放送機器の設営などを通して、学校運営を支えています。影ながら学校の役に立つこと、自分のできることが増えていくことで、やりがいを感じることもできる活動です。皆さんも放送局で自分にあった高校生活を見つけませんか。



在校生からのメッセージ 2 ●水泳部

私たち水泳部は、東北大会・全国大会を目標に、日々練習に励んでいます。5月から9月までと短いシーズンですが、限られた期間の中で自分のどこを強化すべきかを考えながら大会で最高のパフォーマンスを引き出せるように、桜が丘のきれいなプールで泳いでいます。部員全員が家族のように仲が良く、活気ある部活です。ぜひ私たちと共に、青春な部活ライフを送りましょう！

### 年間行事 令和6年度 の予定



### Ⅲ 地域とつながる

学校評議員、PTA、同窓会や地域の方々との連携を深め、地域に開かれ、安全・安心な学校づくりを推進します。

- 地元スーパーと協働し、地域食材を生かした商品開発に参画しています。
- 地元自治会と協力し、高齢者の訪問等のボランティアを行っています。



登校時あいさつ運動(PTA総務委員・健全育成委員)



地域とつながる(家庭クラブ)

### 桜丘会館

桜丘会館は昭和13年に皇紀2600年並びに創立25周年記念事業として建てられました。過去には、部活動の合宿や箏曲部の活動場所として使用されていました。平成26年に登録有形文化財に登録されました。

平城跡の独立丘陵にある敷地からは、古墳時代の土器や平安時代の土師器も出土しました。また、多くの樹木や庭園が校舎を包んでいます。



### 校章



これは、昭和11年10月に制定されました。中央の長方形は鏡を表しています。鏡は、姿をうつすだけでなく心をつつして、常にその心を正しくするものであります。

周囲の桜は、わが校のシンボルである桜をかたどったもので、桜が丘という呼称にもちなんでいます。

### 学校の沿革

明治37年 6月12日 高等女学校令による「私立磐城女学校」設立認可(福島県知事)

7月 8日 開校。平町旧城跡27番地平藩主安藤公の庭園、万華園跡に設立される。本科(4年制)及び技芸専修科(2年制)を置く。

明治45年 4月 「福島県立磐城高等女学校」開校認可。

明治45年 4月10日 開校式を挙行(当日を創立記念日と定める。)生徒定員250名(5学級)

昭和23年 4月14日 学制改革により、福島県立磐城女子高等学校設置。1,250名(25学級)となる。

平成13年 4月 1日 福島県高等学校条例の一部改正により、校名が「福島県立磐城桜が丘高等学校」に改められ、男女共学化される(募集定員400名)。



【明治39年】磐城女学校 第1回卒業生



【平成16年】磐城桜が丘高等学校 第1回卒業生



### 福島県立磐城桜が丘高等学校

〒970-8026 福島県いわき市平字桜町5番地  
 TEL.0246(25)9101 FAX.0246(21)7567  
 URL <https://iwakisakuragaoka-h.fcs.ed.jp/>

